

# 第39回 WE LOVE トンボ 絵画コンクール 報告書

## 入賞作品集



【主催】

朝日新聞社  
朝日学生新聞社

【後援】

文部科学省 環境省 全国都道府県教育委員会連合会 全国市町村教育委員会連合会 全国連合小学校長会 全日本中学校長会  
全国高等学校長協会 (公社)全国高等学校文化連盟 全国高等学校美術工芸教育研究会 (公社)日本PTA全国協議会  
(公財)世界自然保護基金ジャパン(WWF Japan) 日本トンボ学会 (公社)トンボと自然を考える会

【協力】

株式会社サクラクレバス

【協賛】

**トンボ学生服**



株式会社 トンボ



株式会社トンボは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

## 第39回「WE LOVE トンボ」絵画コンクールによせて

朝日学生新聞社

代表取締役社長 **安田 雅信**



「WE LOVE トンボ」絵画コンクールは39回目を迎え、全国から寄せられた応募作品は142,246点にもなり、本年も無事に最終審査まで行うことができました。ここに至るまでの膨大な作業にご尽力いただいた多くの関係者の皆さまには厚く御礼申し上げます。

本年は特に元日からの「令和6年能登半島地震」に始まり、数々の自然災害に苛まれたうえ、災害級の猛暑が続き、作品制作においても大変なご苦労があったことと思われます。ご応募いただいた生徒さんたちにも深く感謝しております。ありがとうございました。

今回初めて審査会に参加いたしました。予選を通過した作品の熱量に圧倒されました。一点一点はもちろんですが、集まった作品群のパワーには審査員全員が驚き、選考は大いに悩みました。

トンボのまわりに描かれる風景を見ていると、日本中を旅した気分を味わえました。緑あふれる大自然の光景から、都会や町の中など身近にある小さな自然まで、皆さんの日常の暮らしが反映されている点が印象に残り、楽しく拝見しました。

今後もおらから自由な発想を大切に、実際のリアルな体験や自分自身から生まれた着想からオリジナリティあふれる「トンボ」の絵画が数多く描かれることを期待しています。

長きにわたってご後援いただいている文部科学省、環境省をはじめ、各教育関係組織、さまざまな研究会、協賛社の皆さまのご協力やご支援、さらに、作品制作にあたりご指導いただいた先生方や保護者の方々にも深く感謝申し上げます。

昭和61年からスタートし、質の高さと強いインパクトを持つこのコンクールが、今後も末永く続くことを強く願っています。

株式会社トンボ

代表取締役社長 **藤原 竜也**



第39回目となりました今回は、少子化で学校数や生徒数が減少する中、全国の小・中・高校生の皆さんから14万2千点以上ものご応募をいただき、心より感謝申し上げます。

この「WE LOVE トンボ」絵画コンクールは“トンボと自然を守ろう”をテーマに実施しております。トンボは自然環境の豊かさを知る一つのバロメーターといわれています。ただ近年、トンボの生息環境がおびやかされ、トンボ自体の個体減少により、トンボを見る機会が減り、写生をすることが難しくなっているようです。

地球環境を守り、持続可能な社会が求められる中、当社でもSDGsの取り組みを強化し、次世代に向けて、豊かで住みよい循環型社会を実現する企業活動を行っています。

その一つの取り組みとして、昇華転写プリント技術の導入があります。これは洋服の生地を染める際には通常、大量の水を使用しますが、弊社では全く水を使用せず、特殊なプリント技術で鮮やかな発色を実現しています。

このように今後も、地球環境はもちろん、昆虫においても貴重な水を大切に扱っていきたいと考えています。

最後になりますが、当コンクールの運営に際しましては、主催者、ご支援いただいております文部科学省、環境省をはじめ各教育機関、諸団体の皆さまに感謝申し上げます。そして毎回、学校や絵画教室などでご指導いただいている先生方、保護者の皆さまにも心から御礼申し上げます。

次回も引き続き、たくさんすばらしいトンボ作品に会えることを楽しみにしております。

# 第39回「WE LOVE トンボ」絵画コンクールご報告

1986年から始まった「WE LOVE トンボ」絵画コンクールは、今年も142,246点のご応募をいただきました。トンボに目を向けることで、自然や生き物とのかかわりの大切さを感じてくれたと思います。

ご指導いただいた先生方をはじめ、ご支援いただいた関係者の皆さまに厚く御礼申し上げます。次回もさらなる発展と充実のためにご指導、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

## 第39回 応募概要

- 趣 旨 美しい自然のシンボルであるトンボを愛し、守る心を育成し、失われつつあるかけがえない自然と生き物の大切さを啓蒙する
- 基本テーマ トンボと自然を守ろう
- 募集作品 「トンボ」または「トンボのいる風景」(スケッチ、イラスト、CG画でも可)
- 作品のサイズ A3(297×420mm)、四つ切り(380×540mm)
- 募集対象 全国の小・中・高校生
- 応募点数 142,246点
- 表彰式 2024年11月16日(土) 朝日新聞社東京本社 浜離宮朝日小ホールにて

## 第39回「WE LOVE トンボ」絵画コンクール表彰式

■主催 朝日学生新聞社・朝日新聞社 ■後援 文部科学省・環境省 ■協賛 株式会社トンボ(トンボ学生服)



表彰式参加者の記念撮影



表彰式風景



祝賀会風景







# 文部科学大臣賞



文部科学大臣賞 \* 小学1年生の部

## おとうとが「ギンヤンマ」をつかまえたよ

埼玉県  
志木市立志木第三小学校 関根 悠さん

青空の下、緑の原っぱでトンボをつかまえようとしているいきいきとした表情の子どもと、トンボたちがとても楽しそう。見て感じたことを素直に表現した勢いのある元気な作品です。クレヨンと、水彩絵の具をティッシュでほかす表現もあり、習ったことを生かして描いています。

受賞者のことば



弟がついにギンヤンマをつかまえ、本物が見られてうれしかったです。すごい賞なので家の中を走りまわってよろこびました。



文部科学大臣賞 \* 小学2年生の部

## とんぼの王さまメガネウラ

長野県  
飯田市立千代小学校 櫻井 友晴さん

約3億年前の古代に生息した巨大トンボのメガネウラがモチーフ。周囲の恐竜が小さく見えるほど巨大化させて、恐竜の捕食を画面からはみ出るほど大きく描き、王様感をうまく表現しています。トーンを抑えた茶色やオレンジ色など古代をイメージした色の使い方も上手です。

受賞者のことば



羽をリアルに描くのが難しかったです。本当はトンボが苦手だけど、絵を描くのは大好きで朝早く起きて1日1枚描きます。



文部科学大臣賞 \* 小学3年生の部

## 赤とんぼといっしょに稲刈り

高知県  
高知大学教育学部附属小学校 山崎 早玲さん

赤トンボが飛び交う時期、みんなで稲刈り。人物の周辺を飛ぶトンボの描き方が、絵に躍動感を与えています。周囲もよく観察し、たわわに実った稲穂やトラクターのわだち、背景の家々までいねいに描いています。稲田の黄色と赤い色の心温まる色づかいで、豊かな秋の実りを伝えています。

受賞者のことば



トンボはつかまえたりせず見て楽しんでいます。いろいろな色を使い、トンボは羽の部分が難しく、気をつけて描きました。



文部科学大臣賞 \* 小学4年生の部

## とんぼの運動会

大阪府  
泉佐野市立第三小学校 中筋 健心さん

トンボを擬人化して、選手や応援する仲間を表現力豊かに描いたユニークな作品です。1位のトンボを大きく描き、トラックや周囲の万国旗、空を曲線で描写したことで迫力ある場面に仕上がりました。細筆を使ってトンボの迫りくるスピード感を表した工夫もすばらしいです。

受賞者のことば



すごいスピードで飛ぶトンボを見て、トンボの運動会がおもしろいと思って描きました。羽の細かいところに苦労しました。



# 文部科学大臣賞



文部科学大臣賞 \* 小学5年生の部

## トンボとひまわり

千葉県  
印西市立牧の原小学校 宋 瑛恵さん

画面の中央にいるトンボが今にも話しかけてきそうです。風に揺れているようなヒマワリも躍動感にあふれて、作者の感性を強く感じる1枚です。奥のトンボは空と同色にしてタッチを抑え、手前のトンボは産毛まで繊細に描写するこだわりなど、空間の奥行き表現も巧みです。

受賞者のことば



庭に咲いたヒマワリの周囲を飛ぶトンボを見て描きました。時間がかかって大変でしたが、作品の仕上がりに大満足です。



文部科学大臣賞 \* 小学6年生の部

## プール開き前のヤゴ救出 大作戦

茨城県  
つくば市立柳橋小学校 前島 羽希さん

プール掃除の際、底に沈んでいたヤゴを助け出した自分の体験をもとに描いたのでしょうか。水中からとらえた構図がおもしろく、水彩絵の具の淡い色をいくつも重ねて表した水の透明感も見事。人物の顔や体など、輪郭を描かずに表現できる技術は目を見張るものがあります。

受賞者のことば



毎年、クラスごとに何匹か持ち帰り、観察します。ヤゴが無事にトンボにかえた時や、飛んでいく時の姿に感動しています。



文部科学大臣賞 \* 中学生の部

## 夏の終わり

愛媛県  
西条市立河北中学校3年 和田 りおんさん

教室の窓からトンボが舞い込んできて、授業風景をのぞいている様子を描いた作品。水彩絵の具の特性を生かした透明感が、さわやかな風、心地よい夏を感じさせます。トンボの羽のやわらかさ、体のつくりをいねいに描写し、生徒たちの表情も個性豊かに描き分けています。

受賞者のことば



中学校生活最後に、昨年のように受賞して締めくりたいと思っていました。大きな賞をいただき、奇跡が起こったようです。



文部科学大臣賞 \* 高校生の部

## 私とトンボ

香川県  
香川県立高松工芸高等学校3年 宮井 和樹さん

子どもが絵を描いているシーンでしょうか。トンボの絵を題材にした発想がユニーク。主役のトンボは、輝きのある画材を使って印象的に表現。その姿を見守る本物のトンボは、繊細なタッチで克明に描写しています。色を重ねた肌の質感や周辺の小物を描く筆づかいも見事です。

受賞者のことば



絵の中心にあるトンボだけでなく、子どもの手の彩色に気を使いました。慣れない日本画の画材で描けたのも良かったです。



# 環境大臣賞




環境大臣賞 \* 小学1年生の部

## とんぼとあそんだよ

埼玉県  
蓮田市立蓮田北小学校 工藤 叶翔さん

大好きな生き物に囲まれた空間でトンボをつかまえようとする作者。その表情から、トンボに夢中になっている様子がよく伝わってきます。画用紙いっぱい描いた絵は左右対称で、植物の葉をスタンプしたり、布をこすりついたり、学んだ技法が作品全体に生かされています。

受賞者のことば



絵を描くのも虫とりするのも大好きです。つかまえたトンボを虫かごに入れてじっくり観察し、写真や図鑑も見て描きました。




環境大臣賞 \* 小学2年生の部

## オニヤンマの産卵と水中のなかまたち

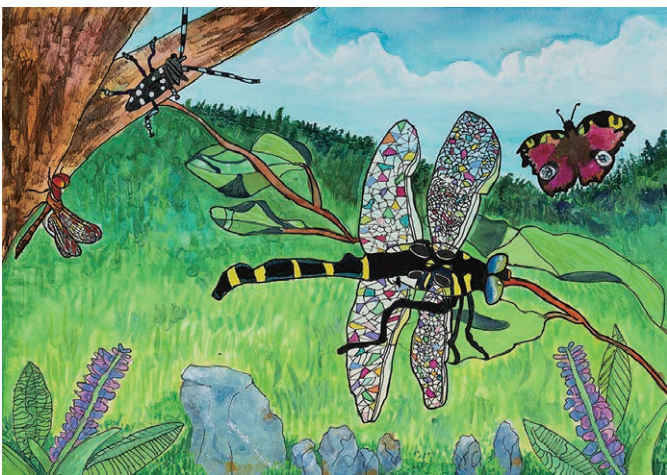
埼玉県  
蓮田市立蓮田南小学校 関根 正之助さん

トンボを画面に収まらないほど元気に描き、産卵場面をダイナミックに表現。トンボと同じ高さから見下ろした構図も迫力があります。池の水面に描いた波紋が卵の落下の瞬間をうまく描写。水中の生き物も輪を描くような配置が成功して、産卵をそっと見守っているようです。

受賞者のことば



旅行先でつかまえたオニヤンマを思い出しながら取り組みました。楽しくて時間を忘れるほど夢中になって楽しく描きました。




環境大臣賞 \* 小学3年生の部

## 山頂のトンボ

京都府  
木津川市立木津小学校 網田 悠人さん

木の枝の陰からのぞき見るような構図で視線を主役のトンボに誘導。同時に岩、原っぱ、山の稜線、空へと、山頂らしい抜けるような爽快感もうまく伝えていきます。トンボは羽をち密に描いてカラフルに彩色。複眼も印象的な色づかいで表現し、作者のトンボへの愛着を感じます。

受賞者のことば



オニヤンマを描くのが難しかったです。キャンプの時につかまえたトンボを思い出し、山で撮った写真を見ながら描きました。



環境大臣賞 \* 小学4年生の部

## この池が好きなんだ

千葉県  
習志野市立谷津小学校 朝倉 羽菜さん

トンボのいる水辺が大好きなのでしょう。画面を半分に分け、水中は薄い色、水面より上は濃い色といった対比的な色づかいで水辺の世界を表現。トンボの羽の模様を部分的に省くことで透明感を表したり、特殊な画材を使ったりして質感を生み出すなど、細かな工夫を感じます。

受賞者のことば



生き物たちが一生懸命に生きているこの池の環境が、長く続くといいなと思って描きました。精一杯描いたのでうれしいです。



# 環境大臣賞




環境大臣賞 \* 小学5年生の部

## オニヤンマ先ばいが来たぞ!みんな集合!

大阪府  
大阪市立放出小学校 蔭山 華さん

生き物たちがすむ里山の暮らしを作者のフィルターを通して描いた斬新な1枚。オニヤンマを主役にした物語は、現実の風景にさまざまな昆虫を想像で配置し、背景と生き物を巧みに重ねて表現しています。トンボをはじめとする多くの昆虫や、周辺の環境もよく観察しています。

受賞者のことば



夏休みに取り組んだ絵です。トンボの羽の透明感に苦労しましたが、主役のオニヤンマがかつこよく描けて気に入っています。



環境大臣賞 \* 小学6年生の部

## トンボ -とともに生きる-

兵庫県  
神戸市立本山第一小学校 健名 紗史さん

豊かな自然環境を大事にする人々をトンボとともに細かく描写。画面の隅々までよく描き込んでいますが、画面を占める水の割合を大きくし、さまざまな遠近法によって、雑然としがちな全体を上手にまとめています。浅瀬の表現方法も美しく、トンボの種類の描き分けも秀逸。

受賞者のことば



四万十川のトンボ王国に行き、イメージしました。人間も生き物も過ごしやすい環境が増えたらいいなと思って描きました。




環境大臣賞 \* 中学生の部

## トンボ、みつけた

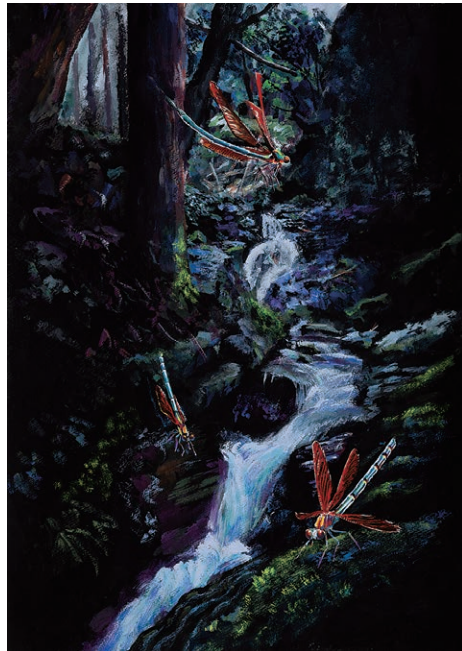
埼玉県  
伊奈町立小針中学校2年 佐藤 実礼さん

人の気配のない静かな池はトンボの楽園。たくさんのトンボが集まって気持ちよさそうに飛び交っています。池のまわりの青々とした木々に対して水面に映る木々や空を、色づかいとタッチで巧みに描写。トンボの羽の動きも的確に描き分け、くつろいでいる様子が伝わります。

受賞者のことば



旅先で出会った景色を描きました。草木に囲まれている中、青く澄んだ空が水面に反射している情景にとっても感動しました。




環境大臣賞 \* 高校生の部

## 清流

徳島県  
徳島県立名西高等学校1年 平瀬 宗真さん

山深い森の風景を切り取った作品。不透明な画材を使うことで発色が良く、多彩な色を重ねることに成功しています。黒や紫などの暗色で静かな空間を感じさせ、画面の中央に記した急流、水音を楽しむように舞う色鮮やかなトンボ、輝く木もれ日まで素晴らしい表現力です。

受賞者のことば



県内の山の中の流を訪れた際に、トンボが飛んでいる風景の聖域感が印象的だったので、その場面を思い浮かべて描きました。



朝日小学生新聞賞  
小学1年生の部



ほくちとむしたちの  
ハッピーなやすみじかん

埼玉県  
吉川市立栄小学校  
望月 一生さん

トンボの羽の模様がギザギザだったり星だったり、自由な発想で描いています。休み時間を過ごすトンボや生徒たちだけでなく、作者自身も制作時間はきっとハッピーなものだったのでしょう。それぞれによるこぶ生徒の表情やポーズ、鮮やかな色彩からも気持ちが伝わってきます。

朝日小学生新聞賞  
小学2年生の部



じいじの田んぼで  
トンボつかまえるぞ!

福井県  
高浜町立青郷小学校  
松本 ひなたさん

細部までていねいに描き込んで、リアリティーを追求したトンボ。その奥に描かれたトラクターに、この絵には登場していないじいじ(祖父)の存在を感じます。頭上にとまったトンボはつかまえられるのでしょうか。網を振りかざす瞬間に、トンボもじいじもドキドキです。

朝日小学生新聞賞  
小学3年生の部



しあわせの  
黒トンボ

福岡県  
北九州市立朽網小学校  
元井 日奈子さん

クレヨンを重ねてひたかく「スクラッチ」という技法や陰影などを用いて、羽の繊細さから腹部の丸みまで描写した美しいトンボ。このトンボが際立つように、背景は淡い色彩でまとめている点もうまいです。筆の使い方も工夫して、水や葉の質感までしっかり描き分けています。

朝日小学生新聞賞  
小学4年生の部



トンボと一緒に  
空の旅

千葉県  
船橋市立坪井小学校  
山口 紗佳さん

絵の中の主人公がほうきにまたがり、トンボと一緒に空の旅に出る発想が新鮮です。トンボの羽越しに主人公を描いて奥行き感を出したり、色を重ねて空の透明感を表現したり、細部に光る高度な技術が絵に深みを与えています。異国のような風景も想像をかきたてられます。

朝日小学生新聞賞  
小学5年生の部



トンボの  
たん生会

長崎県  
佐々町立石口小学校  
大石 侑奈さん

ヤゴからトンボへ羽化する感動的な瞬間を、遠くの花火が盛大に祝っているようです。真っ暗な夜空に浮かぶ、白や黄色の光を放つ明るい花火。生まれたばかりの赤色のトンボと役目をおえた青色のヤゴの抜け殻。明度や色の対比を巧みに用い、印象的なシーンに仕上げています。

朝日小学生新聞賞  
小学6年生の部



神様の森で  
出会ったトンボ

千葉県  
流山市立おおたかの森小学校  
永井 秀弥さん

幹や根を太く画面いっぱいに描くことで巨木を表現。上にいくほど細くなる構図で、見上げている様子が伝わります。羽の模様、眼の輝きなどよく観察してトンボを的確に表現。トンボ以外は絵の具を細かい霧状に飛ばす技法でふわり着色し、トンボの存在を引き立てています。

朝日新聞社賞  
中学生の部



雨上がりに翔べ

広島県  
広島市立祇園中学校3年  
今田 柚妃さん

体育祭での大縄飛びの瞬間。雨が上がり、開催されたことをトンボたちもよろこんでいるようです。ケント紙に色鉛筆で描くことで、大縄を飛ぶ躍動感、水たまりに映る空や雲の表情も的確に描写。校庭の上を舞うトンボの羽や体をち密に描き込んだ、高い技術に圧倒されます。

朝日新聞社賞  
高校生生の部



夏の日

広島県  
近畿大学附属広島高等学校東広島校3年  
吉田 麻紗さん

ハス池から奥の寺までの風景に、奥行きを感じさせる構図です。絵の具の特性を生かしつつ、高度な筆づかいでハスの花やつぼみ、角度によって変化する葉を高校生らしい描写力で表現。細部まで細かく描かれた珍しいトンボと、カエルが対峙しているストーリー性も感じます。



# トンボと自然を考える会賞／日本トンボ学会賞

トンボと自然を考える会賞  
小学1年生の部



## ようちんのと、うらっぴろはで たのしくそんたトンボたち

千葉県  
浦安市立高洲小学校  
望月 優莉香さん

広場に集まったトンボも友達も、元気にはしゃいでいるように楽しそうです。作者が幼稚園にいた時のことを思い出して描いているのでしょう。仲良しであることが表情や動きからも伝わってきます。プランコで遊ぶ友達を小さく描くことで、木の高さを上手に表現しています。

トンボと自然を考える会賞  
小学2年生の部



## はなびのそらと とぶトンボ

大阪府  
大阪市立苗代小学校  
樋口 花子さん

トンボの羽の色は、登場人物の洋服の色と同じようにとてもカラフル。多色づかいなのに全体がまとまって見えるのは、明るいトーンで揃えた作者のセンスが良い証拠。よく見ると周囲にはカエルやカメ、ウサギなど楽しい仲間もいっぱいいて、見ているのが楽しくなる作品です。

トンボと自然を考える会賞  
小学3年生の部



## 川の上を飛行する オニヤンマ

滋賀県  
大津市立仰木の里東小学校  
奥川 奏さん

フェルトペンを用以て描かれたポップアートのような目新しい作品です。トンボは実際に近い色で着色していますが、川や木といった自然の風景は、黒やオレンジのようなはっきりとした色を使っていて、意表をつかれます。作者の想像力とデザイン性の高さに感心する力作です。

トンボと自然を考える会賞  
小学4年生の部



## 赤トンボの夏休み

埼玉県  
草加市立瀬崎小学校  
吉村 朱花理さん

画面の左右を白と水色で区切り、さらに緑を中心に上下を分けた構図に作者の工夫を感じます。色の重ね方を変えて、空の高さや雲の質感、水のゆらぎや透明感までを見事に表現しています。ていねいに描き込んだ背景から、写実的に描いたトンボが浮かび上がってくるようです。

トンボと自然を考える会賞  
小学5年生の部



## 雨上がりの草原

福島県  
いわき市立平第五小学校  
坂本 悠樹さん

花にとまる手前のトンボから広がる大パノラマ。そして右斜め上の虹に向かって走る主人公。考え抜いた高い構成力で、映画のようなワンシーンを切り取った作品です。筆のタッチを変えて表現した大空や虹、服のシワまでリアル。すみずみまで作者のこだわりが詰まっています。

トンボと自然を考える会賞  
小学6年生の部

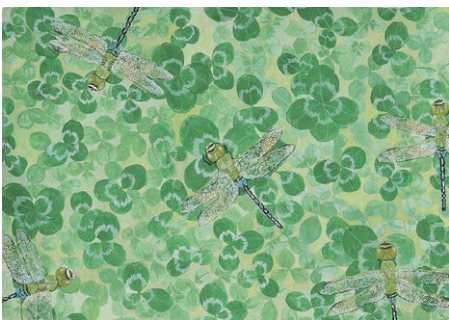


## とんぼと見た 景色

千葉県  
八千代市立西高津小学校  
山田 莉子さん

トンボが丘の上から港町を見下ろす構図が、画面に広がりを感じさせます。水彩絵の具のにじみを生かして、山や海、空、雲を表情豊かに描いています。フェルトペンをを使ったことも大成功。トンボは羽の模様をしっかりと描くことで印象的になり、主役であることが強調されました。

日本トンボ学会賞  
中学生の部



## 幸せを運ぶ トンボ

神奈川県  
横浜市立日限山中学校1年  
川井 里夏さん

画面いっぱいに敷き詰められたクローバー。緑色の濃淡で葉の重なりを見事に表現しています。その上を舞うトンボの眼や胸も緑色ですが、体の立体感や羽の透けた感じなど細部までていねいに描き込んで、トンボの存在感をアップ。見る人を引きつけるレベルの高い表現力です。

日本トンボ学会賞  
高校生の部



## 夏の邂逅

大阪府  
大阪府立岸和田高等学校2年  
松延 昇悟さん

トンボたちが夏祭りを見物に来たのでしょうか。刻々と変わる空の色や浮かび上がる森のシルエットなどで、日が暮れて移り行く時間の空気感を豊かな色彩と繊細なタッチで表現。手前の大きなトンボは鋭い観察力で、羽や体の輝きや立体感など、細部まで丁寧に描かれています。



トンボ学生服賞  
小学1年生の部

### トンボとわたしのアサガオ

埼玉県  
吉川市立美南小学校  
水野 紗依さん

たくさんのお花を咲かせた立派なアサガオを画面からはみ出した構図にすることで、すくすくと生長している様子を伝えています。そんな作者自慢のアサガオをトンボが見に来たのでしょうか。アサガオとトンボを見る主人公のうれしそうなお表情に、見る人まで笑顔にさせてくれます。

トンボ学生服賞  
小学2年生の部

### 風力はつでんとトンボ

福島県  
塙町立塙小学校  
藤田 陽人さん

大型風力発電機の風車の羽根とその間を飛ぶトンボの羽。二つのモチーフを選んだ着眼点が新鮮です。風車の羽根は色を塗らずに紙の色を生かして、青空に映えるすっきりとした印象に仕上げられています。再生可能エネルギーや環境について考えていることがすばらしいです。



トンボ学生服賞  
小学3年生の部

### トンボだー!!

福岡県  
小竹町立小竹北小学校  
手島 優斗さん

迫力満点で飛んでくるトンボをつかまえようとしている主人公のやる気が伝わってくる作品です。茶色のアウトラインと、大自然をイメージさせるアースカラーも良いバランスになっています。トンボの周囲の色を薄くするなど、トンボを目立たせる工夫を感じます。



トンボ学生服賞  
小学4年生の部

### 自然の中のトンボ

熊本県  
玉名市立玉名町小学校  
赤水 鈴奈さん

1本の道の先に見える山々と空が、スーツと溶け込むように地平線に消えていく様子をトンボの視点で描いています。ほかしの技法でかすんだ感じやトンボの羽の動きを表現し、幻想的に仕上げているのが見どころ。白い枠を付けて写真風に見立てた演出も効いています。



トンボ学生服賞  
小学5年生の部

### トンボの命

大阪府  
大阪市立本田小学校  
友部 亜香さん

広島県の厳島神社でしょうか、トンボの眼に映った様子から、この風景を違った視点で眺めることができます。遠近感も質感もうまく描き分けており、押し寄せてくる波から音まで聞こえてきそう。緑から黄色、赤へと変わる紅葉の表現は、トンボの命の変化を暗示しているようです。



トンボ学生服賞  
小学6年生の部

### スズメバチVSオニヤンマ 勝つのはどっち?

山口県  
下関市立垢田小学校  
今永 蓮さん

昆虫界の強者対決の迫力ある場面。周辺の風景は色数や描き込みを抑え、2匹を引き立てています。今にもスズメバチをつかまえそうな脚、力が入った腹部のくねりなどオニヤンマ優勢のシーンに作者の愛情が伝わります。羽の模様、脚の鋭いトゲなどの詳細な描写も感動的です。



トンボ学生服賞  
中学生の部

### 窓際のトンボ

三重県  
桑名市立陵成中学校3年  
吉野 翔馬さん

絵の具の付いた雑巾やスポンジが置いてある学校の手洗い場。映り込みを的確に描いて金属の質感を、グレー系の色を重ねてシンクのリアルな汚れを表現。色調を抑えたことで蛇口にとまるトンボに視線を集め、周囲の建物や空の様子もしっかり描き込んだレベルの高い作品です。

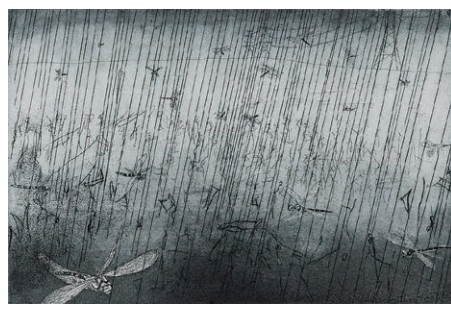


トンボ学生服賞  
高校生の部

### 嵐の夏

岐阜県  
岐阜県立池田高等学校3年  
木村 日葵さん

モノクロで独特な世界観を生む銅版画。鋭い線を生かして豪雨とあわてふためく無数のトンボを描き、黒に濃淡を付けて激しい雨で道路が白くけむっている様子を表現しています。手前を低空飛行するトンボは、頭や羽、腹部を細い線でち密に描写した高校生ならではの力作です。



小学生の部



京都府 洛南高等学校附属小1年  
小田 晶雅さん



兵庫県 南あわじ市立市小1年  
興津 心葉さん



愛知県 稲沢市立国分小1年  
杉浦 瑞紀さん



埼玉県 吉川市立中曽根小1年  
信澤 颯歩さん



長崎県 佐世保市立清水小1年  
谷村 花さん



埼玉県 草加市立瀬崎小2年  
大石 陽七乃さん



埼玉県 熊谷市立佐谷田小2年  
齊藤 慧さん



岐阜県 各務原市立蘇原第一小2年  
仲野 世菜さん



大阪府 大阪市立十三小2年  
渡邊 百々葉さん



大阪府 大阪市立堀江小 東学舎2年  
渡邊 陸さん



大阪府 大阪市立北粉浜小3年  
佐藤 里咲さん



大阪府 大阪市立南百済小3年  
泊 杏奈さん



大阪府 大阪教育大学附属天王寺小3年  
木下 聖柎さん



大阪府 大阪市立吉野小3年  
善利 真奈絵さん



大阪府 大阪市立茨田南小3年  
中本 智耀さん



山梨県 山梨市立日下部小4年  
相原 琢人さん



大阪府 堺市立八下西小4年  
川出 航輔さん



愛媛県 新居浜市立中萩小4年  
白石 大翔さん



千葉県 我孫子市立我孫子第四小4年  
徳丸 恵さん



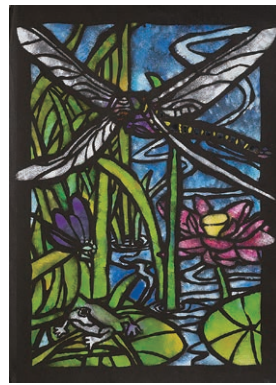
和歌山県 御坊市立御坊小4年  
西川 敬稀さん



福島県 いわき市立鹿島小5年  
金子 純也さん



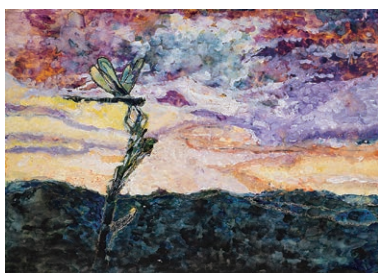
千葉県 八千代市立大和田西小5年  
久保 真織さん



宮城県 栗原市立宮野小5年  
宍戸 良多さん



愛知県 名古屋市立自由ヶ丘小5年  
松尾 菜月さん



千葉県 船橋市立坪井小5年  
大矢 寧々さん



埼玉県 春日部市立八木崎小6年  
石塚 陽基さん



大阪府 堺市立中百舌鳥小6年  
谷 和真さん



鹿児島県 鹿児島市立原良小6年  
森山 絢月さん



埼玉県 吉川市立美南小6年  
矢野 綾那さん



千葉県 八千代市立みどりが丘小6年  
山木 一涵さん

中学生・高校生の部



山梨県 山梨学院中1年  
藤井 蕾羅さん



愛知県 愛知教育大学附属名古屋中2年  
木戸口 虹清さん



鹿児島県 長島町立獅子島中3年  
藤後 渚さん



愛媛県 東温市立重信中1年  
福本 沙恵さん



埼玉県 越谷市立栄進中1年  
松永 璃空さん



岡山県 作陽学園高2年  
雨島 玉季さん



静岡県 笹田学園デザインテクノロジー専門2年  
佐藤 志野さん



埼玉県 埼玉県立大宮光陵高1年  
佐藤 陽菜さん



福岡県 福岡県立大川樟風高2年  
乗富 紗栄さん



香川県 香川県立高松工芸高3年  
藤澤 優里さん

小学生の部



滋賀県  
栗東市立葉山東小1年 岡田 結平さん



岡山県 倉敷市立味野小1年 尾池 彩良さん



京都府 木津川市立相楽台小1年 岡本 昊大さん



大阪府 大阪市立堀川小1年 高本 夏碧さん



三重県 津市立北立誠小1年 辻村 隼さん



鹿児島県 志布志市立安楽小1年 長崎 瑛俊さん



滋賀県 大津市立伊香立小1年 山口 結楓さん



福島県 郡山市立明健小1年 渡邊 結仁さん



福島県 三春町立岩江小2年 大内 琉蓮さん



大阪府 和泉市立南松尾はつが野学園2年 大町 凌輝さん



愛知県 江南市立門第山小2年 櫻又 紗さん



山口県 下松市立中村小2年 嶋村 縁さん



大阪府 大阪市立友洲小2年 早雲 緋彌亜さん



愛知県 豊田市立西広瀬小2年 濱矢 想一郎さん



大阪府 大阪市立扇町小2年 原野 友満利さん



熊本県 宇土市立花園小2年 福野 友菜さん



栃木県  
那須塩原市立三島小3年 阿部 凌空さん



千葉県 香取市立東大戸小3年 朝倉 彩巴さん



埼玉県 羽生市立須影小3年 有家 羽春さん



大阪府 大阪教育大学附属天王寺小3年 上浪 一隼さん



茨城県 笠間市立笠間小3年 高野 杏奈さん



茨城県 結城市立上山川小3年 塚田 蒼一朗さん



大阪府 大阪市立粉浜小3年 林 秋月さん



栃木県 宇都宮市立桜小3年 渡邊 花菜さん



滋賀県 大津市立晴嵐小4年 五百蔵 桃香さん



愛媛県 松山市立余土小4年 石手 孝樹さん



大阪府 堺市立浅香山小4年 大窪 望仰さん



大阪府 大阪市立中之島小4年 宍戸 琉晟さん



福岡県 福岡市立塩原小4年 韓 承元さん



大阪府 大阪市立真田山小4年 宮崎 直柔さん



奈良県 橿原市立真菅小4年 室谷 知佳さん



山形県  
山形市立宮浦小4年 田井地 雄介さん



鹿児島県 鹿児島市立中洲小5年 愛甲 将太さん



茨城県 坂東市立岩井第一小5年 荒川 由璃さん



神奈川県 横浜市立もえぎ野小5年 川上 陽太さん



大阪府 大阪市立加美小5年 花峯 優平さん



福島県 郡山市立朝日丘小5年 堀田 きゆうさん



宮城県 利府町立利府第三小5年 松崎 奈央さん



兵庫県  
神戸市立本山第一小5年 大木 麻椰さん



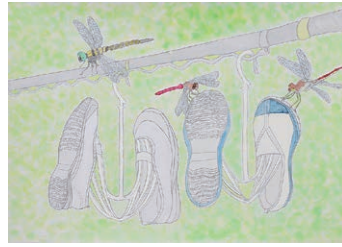
兵庫県  
西宮市立南甲子園小5年 坂本 航志さん



福島県 福島市立大森小6年 浅野 結喜さん



大阪府 堺市立八下西小6年 宇陀 樹さん

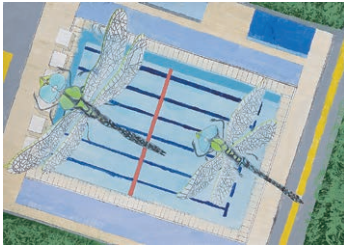


栃木県 那須塩原市立南小6年 岡野 姫依さん



京都府 京田辺市立三山木小6年 金子 遥海さん





大阪府 大阪市立豊崎小6年 多田 亮円さん



千葉県 柏市立旭小6年 渡邊 龍さん



埼玉県  
春日部市立八木崎小6年 白浦 晴さん



滋賀県  
草津市立草津第二小6年 山本 煌大さん

中学生・高校生の部



静岡県 静岡市立籠上中1年 牧野 優希さん



千葉県 千葉市立泉谷中2年 泉 志穂さん



大分県 中津市立三光中2年 岡 つぐみさん



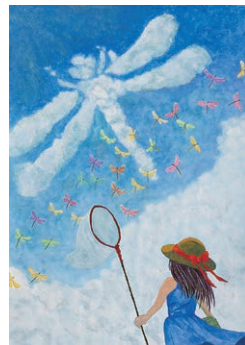
愛媛県 西条市立河北中2年 菊川 愛梨さん



石川県 金沢市立医王山中2年 中井 彩希子さん



宮城県 石巻市立蛇田中3年 菅原 藍さん



愛知県  
北名古屋市立熊野中1年 清水 莉翠さん



兵庫県  
神戸市立本山中2年 石渡 愛理さん



神奈川県 神奈川県立神奈川工業高1年 下久保 琥美さん



福岡県 九州産業大学付属九州高1年 杉光 虹の実さん



香川県 香川県立高松工芸高2年 山口 こゆきさん



京都府 京都芸術高3年 上田 禅さん



福岡県  
九州産業大学付属九州高1年 上戸 菜摘さん



茨城県  
常磐大学高1年 古山 初音さん



広島県  
広島県立呉三津田高1年 松井 健伸さん

小学生の部



福岡県 麻生学園小1年 安達 麻紘さん



埼玉県 吉川市立美南小1年 阿部 美玲さん



千葉県 柏市立土小1年 大島 由依さん



徳島県 小松島市千代小1年 岡田 蓮斗さん



愛知県 名古屋市長根小1年 佐々木 彩乃さん



福島県 いわき市立平第一小1年 長谷川 文鷲さん



福岡県 西南学院小1年 関根 慶さん



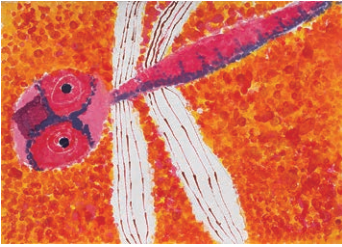
愛知県 稲沢市立国分小1年 畑 柚珠葉さん



埼玉県 春日部市立武里西小1年 福田 陽菜乃さん



大阪府 大阪市立吉野小1年 山崎 楽歩さん



滋賀県 栗東市立葉山東小2年 中野 いろはさん



鹿児島県 鹿児島市立桜丘西小2年 井神 明音さん



埼玉県 春日部市立武里小2年 佐々木 ゆらさん



福岡県 北九州市立松ヶ江北小2年 古賀 ららさん



大阪府 大阪市立扇町小2年 渡辺 たまきさん



埼玉県 蓮田市立蓮田北小2年 原口 朱莉さん



鹿児島県 伊佐市立羽根月小2年 瀬戸口 湖珀さん



神奈川県 相模原市立上溝小2年 太田 美羽さん



茨城県 かすみがうら市立薮ヶ浦南小2年 冨田 葵奈さん



滋賀県 守山市立吉身小2年 辻 楓花さん



埼玉県 吉川市立美南小3年 小山 紗良さん



千葉県 八千代市立大和田南小3年 櫻井 栞さん



大阪府 大阪市立山之内小3年 仙島 陽菜乃さん



長崎県 長崎市立桜町小3年 中 颯太郎さん



埼玉県 加須市立三俣小3年 並木 恵麻さん



神奈川県 茅ヶ崎市立香川小3年 馬場 有翔さん



福島県 福島市立湯野小3年 佐藤 玲さん



埼玉県 さいたま市立上里小3年 細井 穂花さん



福島県 本宮市立岩根小3年 宗形 花音さん



長野県 才教学園小3年 湯浅 創太さん



鹿児島県 霧島市立国分西小4年 梅北 流音さん



茨城県 高萩市立高萩小4年 小川 暖十さん



茨城県 水戸市立赤塚小4年 柴沼 千愛さん



埼玉県 さいたま市立東大成小4年 高田 美湖さん



愛媛県 宇和島市立天神小4年 橋本 宗侍さん



大阪府 大阪市立中央小4年 林 想太さん



大阪府 岸和田市立山直北小4年 高橋 悠さん



大阪府 堺市立福泉上小4年 東口 史果さん



大阪府 田尻町立小4年 松野 颯介さん



大阪府 大阪教育大学附属天王寺小4年 元林 洋康さん



大阪府 大阪市立西船場小5年 川田 昊さん



京都府 京都市立嵯峨野小5年 後藤 菜々美さん



山形県 山形市立南山形小5年 菅野 灯さん



滋賀県 近江八幡市立八幡小5年 加賀爪 涼晟さん



茨城県 桜川市立谷貝小5年 富田 莉加さん



大分県 大分市立数戸小5年 廣瀬 悠人さん



福岡県 北九州市立河内小5年 三浦 橙真さん



千葉県 松戸市立寒風台小5年 光成 花澄さん



大阪府 大阪市立堀江小5年 松根 翠蓮さん



岡山県 玉野市立田井小5年 西河 心粋さん



山口県 下関市立拓田小6年 川原 結斗さん



鹿児島県 鹿児島市立武小6年 下園 律さん



埼玉県 春日部市立上沖小6年 菅原 恵斗さん



福島県 郡山市立西田学園義務教育6年 坪井 望実さん



神奈川県 相模原市立中央小6年 渡邊 美緒さん



千葉県 千葉市立花見川小6年 川村 八十八さん



滋賀県 彦根市立城南小6年 近藤 亜子さん



埼玉県 川口市立芝樋ノ爪小6年 清水 新太さん



大阪府 大阪市立南住吉小6年 平山 柊さん



大阪府 柏原市立柏原東小6年 森本 瑚捺さん

中学生・高校生の部



岩手県 盛岡中央高等学校附属中1年 刈田 実結さん



大阪府 大阪星光学院中1年 澤田 佳衣人さん



千葉県 千葉市立末広中1年 竹島 練さん



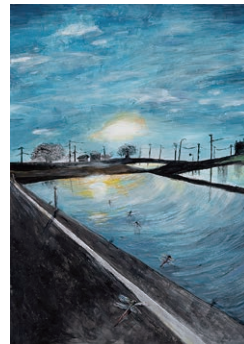
神奈川県 横浜市立本牧中1年 沼野井 梨都さん



愛媛県 西条市立河北中1年 森川 結香さん



鹿児島県 始良市立帖佐中1年 米重 麟大さん



石川県 野々市市立野々市中1年 番匠 ひよりさん



愛媛県 西条市立河北中2年 森川 敦生さん



愛知県 あま市立美和中2年 高綱 佳歩さん



大分県 由布市立扶間中2年 渡邊 佳澄さん



神奈川県 神奈川県立神奈川工業高1年 青島 由芽さん



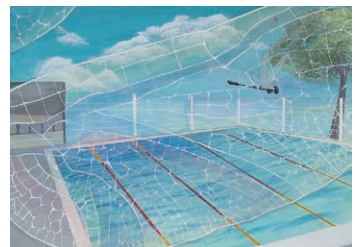
福岡県 福岡女子商業高1年 近藤 葵さん



埼玉県 埼玉県立大宮光陵高1年 堺 花奈さん



熊本県 熊本県立大津高1年 杉谷 瞬さん



神奈川県 神奈川県立神奈川工業高1年 金澤 桃音さん



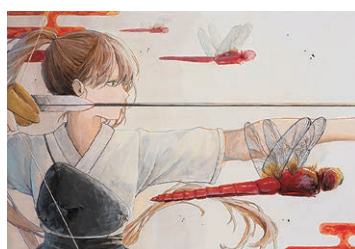
福岡県 九州産業大学付属九州高1年 高橋 音色さん



福岡県 九州産業大学付属九州高1年 龍 辰逸さん



埼玉県 埼玉県立川口東高2年 野口 紗来さん



神奈川県 神奈川県立神奈川工業高1年 長沼 美結さん



京都府 京都芸術高2年 道下 歩由さん

# 第39回「WE LOVE トンボ」絵画コンクールによせて

都道府県	小学生			中学生			高校生			その他			不明	合計
	学校 応募	応募 校数	個人・ 画塾	学校 応募	応募 校数	個人・ 画塾	学校 応募	応募 校数	個人・ 画塾	学校 応募	応募 校数	個人・ 画塾		
1 北海道	170	32	35	95	23	6	3	2	0	3	2	0	0	322
2 青森県	406	45	4	12	8	0	0	0	0	0	0	0	0	427
3 岩手県	80	27	4	78	11	1	4	3	0	4	3	0	0	167
4 宮城県	1,261	56	18	136	23	2	9	2	1	9	2	1	0	1,427
5 秋田県	51	17	7	26	7	0	0	0	0	0	0	0	0	86
6 山形県	1,035	61	24	97	11	1	0	0	0	0	0	0	0	1,157
7 福島県	8,904	246	94	244	24	3	0	0	1	0	0	1	0	9,246
8 茨城県	8,398	124	543	366	29	16	2	1	3	2	1	3	3	9,331
9 栃木県	3,390	79	14	184	13	3	0	0	2	0	0	2	0	3,593
10 群馬県	126	6	12	75	9	0	10	1	0	10	1	0	0	223
11 埼玉県	13,493	166	424	284	47	8	22	6	2	22	6	2	0	14,241
12 千葉県	5,391	138	93	171	33	4	0	0	3	0	0	3	0	5,662
13 東京都	926	96	151	132	30	16	6	4	3	6	4	3	1	1,235
14 神奈川県	3,110	129	503	181	39	10	51	3	2	51	3	2	0	3,857
15 新潟県	716	90	27	37	15	1	0	0	0	0	0	0	0	781
16 富山県	975	38	28	122	5	0	1	1	0	1	1	0	0	1,126
17 石川県	80	4	2	47	11	1	0	0	0	0	0	0	0	130
18 福井県	731	27	3	0	0	0	13	2	0	13	2	0	0	747
19 山梨県	444	30	4	3	3	3	4	2	1	4	2	1	0	459
20 長野県	314	42	9	16	7	0	4	1	0	4	1	0	0	343
21 岐阜県	536	39	60	124	24	5	77	2	3	77	2	3	0	805
22 静岡県	341	17	19	109	27	5	39	2	0	39	2	0	0	513
23 愛知県	1,540	56	51	236	41	10	4	3	0	4	3	0	0	1,841
24 三重県	1,505	66	27	8	5	0	0	0	3	0	0	3	0	1,543
25 滋賀県	8,876	177	101	127	8	4	2	1	0	2	1	0	0	9,110
26 京都府	963	75	64	74	10	2	21	2	1	0	0	0	0	1,125
27 大阪府	30,039	401	134	106	14	5	7	2	3	0	0	0	0	30,294
28 兵庫県	3,123	113	98	149	23	6	128	6	2	0	0	0	0	3,506
29 奈良県	968	33	18	22	8	1	0	0	0	0	0	0	0	1,009
30 和歌山県	1,715	101	12	31	7	1	0	0	0	0	0	0	0	1,759
31 鳥取県	5	2	0	5	3	0	48	1	0	0	0	0	0	58
32 島根県	56	16	26	8	5	0	1	1	0	0	0	0	0	91
33 岡山県	3,125	106	33	65	7	2	1	1	3	1	1	0	0	3,230
34 広島県	4,150	115	95	139	12	4	51	4	0	0	0	0	0	4,439
35 山口県	750	30	4	25	5	0	6	4	0	0	0	0	0	785
36 徳島県	1,803	62	7	72	6	0	13	3	1	3	1	0	0	1,899
37 香川県	281	6	8	3	3	0	16	2	2	0	0	0	0	310
38 愛媛県	1,421	47	35	36	6	0	1	1	1	0	0	0	0	1,494
39 高知県	87	8	2	32	2	0	0	0	0	0	0	0	0	121
40 福岡県	9,788	242	526	68	21	3	174	4	2	0	0	0	1	10,562
41 佐賀県	930	36	2	21	5	0	0	0	0	0	0	0	0	953
42 長崎県	3,310	168	24	70	11	0	5	2	0	0	0	0	0	3,409
43 熊本県	1,004	45	19	32	10	0	39	5	1	0	0	0	0	1,095
44 大分県	73	13	13	6	3	1	0	0	0	0	0	0	0	93
45 宮崎県	996	49	29	49	11	0	26	2	0	0	0	0	0	1,100
46 鹿児島県	6,305	228	34	85	14	0	0	0	1	5	1	0	0	6,430
47 沖縄県	45	13	10	46	13	1	10	2	0	0	0	0	0	112
48 海外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	133,736	3,717	3,450	4,054	652	125	798	78	41	37	8	0	5	142,246

※その他は特別支援学校などからの応募です。  
※不明は、部門・学年等が不明なものです。

総応募校数 4,455校

## 第39回「WE LOVE トンボ」絵画コンクールの総評・感想 (敬称略)



本選会

予選会

### 総評



### 奥本 大三郎

審査委員長  
作家、ファール昆虫館 館長

39回目を迎えた「WE LOVE トンボ」絵画コンクールは、今回も無事に最終審査を行うことができました。14万2千点以上の応募作品が寄せられ、審査員一同、大変うれしく思い、深く感謝しております。今年は、年明け早々からの激甚災害に始まり、幾たびもの大雨によるさまざまな災害に加え、長期間にわたる猛暑にも見舞われました。そんな過酷な状況にもかかわらず、作品制作に取り組んだ子どもたちはもとより、最終審査に至るまでの膨大な作業に関わったスタッフの皆さんのご苦勞を思うと、頭が下がります。最終審査に残った作品全体を見渡すと、ようやく以前のような暮らしが戻ってきたことを実感させられました。日常生活の中の何気ない一瞬や、あちこち出かけたであろう思い出のシーンなどが絵に表れていて、懐かしいようなほのぼのとした幸せな気分になりました。そのうえ、作品制作におけるさまざまなテクニックの向上には毎年のことながら驚かされます。近年、流行しているテーマの取り上げ方など、本当に皆さんとても上手でした。そんな中で気になっているのが、実際のシーンやトンボそのものの観察がまだまだ足りないのでは、という思いです。現在ではインターネットなどで希望する情報を簡単に入手できるようになっていますが、それだけで制作するのはよくありません。それらを利用しながら自分ならではの熱い思いや、考え抜かれた工夫を感じられる作品が、見る人を感動させるのです。そんなオリジナリティあふれる作品が集結するコンクールになっていくことを願ってやみません。

## 感想



### 平田 朝一

文部科学省  
初等中等教育局  
教育課程課 教科調査官

今年も素晴らしい作品に出会うことができ、感動しました。身近な生活の中にトンボがいる風景や、夢や想像の世界をトンボと一緒に描いた作品など、発想や構構がとても豊かでした。トンボの姿や周囲の風まで、画材の使い方を工夫しながら描かれたていねいな作品が印象的でした。また、トンボに乗ったり夢の中にトンボが登場させたりするなど、想像の世界を描いたアイデアのある作品にも驚かされました。これからも、身の回りの自然のすばらしさや生き物のいのちの尊さなどを考え、創造力を働かせながら、さらなる作品に挑戦してほしいです。



### 荒井 篤

東京都立  
東久留米総合高等学校  
校長

小学生から高校生まで、観察に熱中したり表現を楽しんだり、子どもたちのさまざまな気持ちがトンボの姿を通じて伝わってきました。あるがままの描写にすぐれた作品のすばらしさと、少年少女がイメージする自由な想像の世界感に驚かされました。その中で作者とトンボが意外な場所で出会っているシーンが印象的でした。これからもトンボを通じて自然を守り大切にしてほしいと思います。同時に、暮らしている身のまわりからも自然を感じられる感性も大切です。子どもたちへの取り組みの一つとして、このコンクールが末永く続くことを願います。



### 竹内 とも子

東京都新宿区立  
柏木小学校  
指導教諭

今年度は特に色彩が鮮やかで、明度や彩度の強弱が明快なインパクトのある作品が多かったように感じられました。これは普段からスマホやパソコンの輝くような画面を見慣れている影響なのでしょうか。生成AIやネット検索の活用など一懸念調べる過程も大事ですが、やはり作者の経験を投影したオリジナリティが必要です。自分ならではの視点の新しさに加え、表現方法をより複雑に、または単純に、ときには抽象的に、工夫された作品に魅力を感じました。最終審査では見る人の心に響く、エネルギーを届けてくれる作品が選ばれていると思います。



### 新沼 光太郎

公益社団法人  
トンボと自然を考える会  
理事

今年もシチュエーション豊富な見ごたえのある作品ばかりでおもしろかったです。特にさまざまな自然を背景にトンボを描いたものが印象的でした。その中で注目したのがウチワヤンマを題材にした作品です。この種は台湾などの暖かい地域で生息していますが、作者の地域でも見られたという観察の成果でしょう。腹の形状の特徴もよくとらえており、調べていくうちに生息地が北上していることを知り、環境の変化＝温暖化を実感することができるでしょう。このコンクールの主旨でもあるトンボと環境のかかわりを体験した作品を待ち望んでいます。



### 内屋 敦

朝日新聞社  
コーポレート本部  
広報・ブランド推進部長

今回、初めて最終審査会に参加しました。バラエティーに富んだ作品群に圧倒され、熱いパワーを感じました。学年が進むにつれてトンボの写実性をより追及しようとする意図が明確な作品と、トンボの眼を通して伝えようとするメッセージ性の強い作品が混在するようになり、審査の難しさを感じました。審査会后、秋田に出張する機会がありました。稲刈りを終えた田にトンボが舞う姿を、童心に帰って目で追いかけていました。絵に残そうとする子どもたちとトンボがにらめっこできるような機会を生み出すコンクールの意義を改めて実感しました。今後は地域や学校単位の取り組みを評価するなど、環境教育の底上げにつなげるべく、新聞社としてもコンクールの新たな展開を検討していきたいと思っています。



### 大石 浩巳

環境省  
自然環境局  
野生生物課 課長補佐

応募された皆さんの作品は、どれも「すばらしく生き生きとした作品」に感じられ、とても感動しました。環境省としては、全ての生きものが自然の中でお互いに関わり合いながらバランスを保って生きていく「生物多様性」、これを皆さんが意識し、もっと自然環境に深く注視してもらえればと、常に願っています。今後、生物多様性の中での「トンボ」をテーマとした作品が多く出展され、その作品に出会えることにこれからも期待しています。



### 飯田 哲昭

神奈川県愛川町立  
愛川中学校  
教頭

今回も個性的で豊かな表現の作品が多く、目だけでなく心を奪われました。また、農村の風景や明るい普段の生活の情景などを描いた作品が多かったことから、穏やかな日常を取り戻しつつあると感じました。小学校低学年ではカラフルな色づかいで描きたい思いやエネルギーあふれる作品が目立ち、高学年になると見たものを忠実に再現しようとする試みや、自分の中のフィルターを通して再構成する作品とに分かれてきているようでした。中・高校生になると表現したいことがより明確になり、画面全体の見せ方を考えた力作ぞろいでした。



### 喜多 英人

日本トンボ学会

多くの力作が集結し、レベルの高さに驚きました。人間とトンボとの関係や自然環境の中でのトンボなど、テーマ性を持った作品が目立ちました。スマホで写真を撮っている画面からは、新しい時代が来たことを感じましたが、同じようなアングルの構図も見受けられ、何かの素材を参考にしたのか類似作品も多かったようです。今後は今までにないタッチや観察記録、トンボにとって大切な水との関係など、新しい画風も見てみたいものです。さらに、いつの時代も変わらない、トンボを見た時に感じるワクワクした気持ちを表現することを期待しています。



### 藤原 竜也

株式会社トンボ  
代表取締役社長

これまで以上にトンボをつぶさに観察した作品が多かったように感じました。じっくり見ているとそれぞれのトンボの表情が何かを語りかけているように思える作品も印象的でした。また、他の昆虫や動物と組み合わせた構図もおもしろく、目立っていました。トンボの一瞬の動きをフォーカスしたような表現力に、ほのほのとした印象や鋭い観察力を感じ、いつまでも見ていたくなる作品ばかりでした。今後も自然環境の中で融合しているトンボはもちろん、大都会で飛翔するトンボなど、いろいろな場面でのトンボを描いた作品を期待しています。

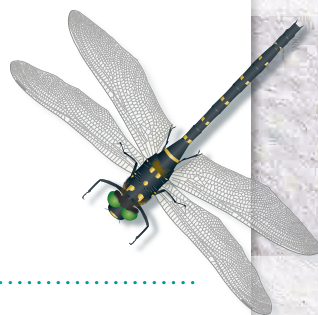


### 安田 雅信

朝日学生新聞社  
代表取締役社長

トンボのいる風景を通して、小学生から高校生までの皆さんが見たり感じたりした世界を私も審査しながら追体験でき、とても楽しい時間でした。小学生の作品には発想の自由さやエネルギー、中・高校生には考え抜かれた構図や構成力、個性的な色づかいに驚かされました。トンボの羽の描き方の精緻さや色彩、陰影、明度などの違いに強い個性を感じました。トンボの詳細な描写には、写真などの見本も必要なケースもあるとはいえAIでも生成が可能な「どこかで見たような」構図も散見されました。オリジナルの価値とは何なのかと、あらためて考えさせられました。

お知らせ



特設サイトで  
全受賞作品を発表しています!

ぜひご覧ください。

詳しくは

トンボ絵画コンクール 検索



 人と自然を大切にした価値ある製品づくりを  
株式会社 **トンボ**

〒700-0985 岡山市北区厚生町二丁目2番9号  
TEL.086-232-0311(代) FAX.086-225-4094